

普及現地情報

発信年月日：令和元年(2019年)12月24日
所属名：湖東農産普及課
番号：F19012
部門分類：340 鳥獣害対策
発信者名：木村 須戸

獣害対策組織で竹のチップ化実演会を開催

12月24日に彦根市鳥居本町東内町・佐和山町西内町の合同で、竹のチップ化の実演会を行いました。

東内町では獣害対策委員会を持って獣害対策について活動をしており、西内町についても今年度獣害対策組織を立ち上げ、両町合同での獣害対策を始めるところです。

獣害対策において集落の環境整備は重要な要素です。東内町では里山リニューアル事業を利用して農用地周辺の山林の刈り払いを進めていますが、現地では竹林が優占していて、刈り払い後の処理に苦慮しています。そこで、刈り払い後の竹をチップ化する実演会を東内町西内町の合同で開催されました。当日は11人の参加があり、関心の高さがうかがえました。

滋賀ヤンマーの協力で自走式の実演機を東内町七曲谷に搬入し、刈り払いで生じた竹を1本あたり約3分で粉碎していきました。

チップ化された竹を農道に敷いていくと、竹1本分で約2㎡がカバーできることがわかりました。予想していたよりも細かいチップが出来たので、青竹であれば乳酸発酵のうえ有機質肥料として使用する案も出てきました。

山裾の多くは竹に覆われていますので、すべてをチップ化するのは困難ですが、里山を含めた環境整備に対する一つの答えになったかと思います。



青竹をチップパーで処理する



竹チップの使用方法を検討する